

活動の概要

(周南熊毛支部)

素焼き干支土鈴の絵付け体験活動～「周南こどもゆめまつり」の開催に向けて～

1 活動日程

- ・実行委員会 5/25 8/3 10/5 11/29
- ・前日準備 10/21
- ・ゆめまつり開催 10/22 準備、片付け

2 活動概要

「周南こどもゆめまつり」は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3年間中止されていたが今年は開催に踏み切った。このイベントは、熊毛地区周辺の子供達の楽しみな行事としてすっかり定着していたが3年のブランクがあり、元通り来場者があるだろうかと不安視されていた。しかし、4000人の来場者（実行委員会発表）があり、安堵した。

本支部も例年干支の土鈴の絵付け体験のブースを担当し、協力団体として行事を盛り上げて来た。子供達に夢を与える活動として来年の干支（龍）の土鈴に絵付けをする体験活動を実施している。また、ゆめまつりのスタッフとして熊毛中のボランティア4人が参加し、会員と共に活動している。これらの活動は中学生ボランティアの活性化に繋がっている。

この事業は毎年定着してきており、午後1時過ぎには120個を完売した。近年、特に親子での参加者が多く見られるようになった。土鈴の絵付け体験を通して土鈴の温かみを感じながら思い思いに色塗りをする場面が創出できている。また、スタッフは昨年購入したそろいのジャンパーを着用して参加し、県教育会の啓発・広報活動も積極的に行うことができた。

この活動は、子供達の創作意欲を醸成するとともに、三丘地区の就労支援事業所「なべづる園」で製作販売されている素焼きの土鈴を毎年まとめて大量に購入し、販売促進を図ることにより、障害者への理解を深め、地域活性化の一助としている。

(1) 成果

この事業を通して次のような成果があったと考えている。

- ① 物価高の折土鈴の価格が年々高くなっているが助成金が確保され、念願の土鈴の数も確保することができ、来場者の期待にこたえる事ができ満足できるものとなった。
- ② 年々イベントの人气が高まり、熊毛地区以外からも多くの子供達が親子連れで参加している。特に近年は幼児から小学校低学年児童とその両親及び祖父母の参加が増えている。土鈴の素焼きを思い思いに絵付けすることにより、自分で作ったものに愛着をもつ貴重な体験を与えることができた。
- ③ 中学生ボランティアが気遣いよく手助けしてくれた。親子の体験活動の支援にとどまらず、中学生とのよい交流の場となっている。
- ④ 地域の最大イベントであるこどもゆめまつりで各団体に存在をしっかりとアピールすることができた。また、この事業への取組が、熊毛地区の各種団体との協力や家

庭・学校・地域社会等の連携として定着し、年々確実に高い評価を得て来ている。

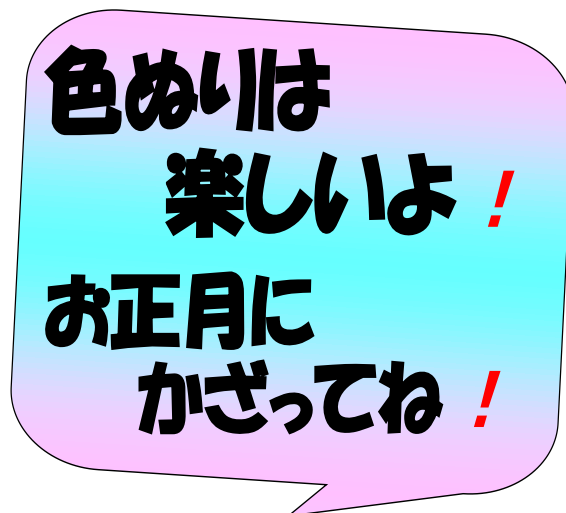
- ⑤ 熊毛地区にある唯一の障害者施設の就労支援事業所「なべづる園」の製品を活用することで当事業所の活性化を図るとともに障害者に対する理解を深めることができた。

(2) 今後の課題

支部がこの事業を継続する上では、次のような課題がある。

- ① 体験活動を仕組んで、この地域のこどもゆめまつりを支援していくうえで、子供達の創作意欲を引き出し、事業の主旨に沿った活動内容の充実にさらに鋭意努力していきたい。
- ② 今回も中学生ボランティアが4名来てくれて、とても熱心に手際よく活動してくれた。中学生にとっては校区内の自主活動の最適な場でもあり、今後も参加を呼び掛けて共に活動することにより、ボランティア意識を育てていきたい。
- ③ 本支部は会員数が少なく、活動資金も少ないのが現状である。年々楽しみにして参加者が増えてきているので、助成金はとてもありがたかった。来年度も個数を確保して実施していきたい。

【会場掲示物】



【写真資料】



よく活躍してくれた中学生ボランティア



親子の参加が多くなっている



中学生の色付け見本ができた



黄色のジャンパーのスタッフも大忙し



小さい子供連れが多くなってきている



10時に開始、13時40分終了、盛況に終わる